

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	はり実技3
科目基礎情報				
開設学科	鍼灸科	コース名		開設期 前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数 45時間
単位数	1単位	授業形態	実習	
教科書/教材	担当教員が資料を作成し、毎回配布する。			
担当教員情報				
担当教員	小堀孝浩・宮本陽平	実務経験の有無・職種	鍼灸師	
学習目的				
1年時に学んだ解剖学的知識を活かし、身体の筋肉、神経、関節部などに対する触診・刺鍼を学び、体得する。その技術を応用し、低周波鍼通電療法（以下、鍼通電療法）の方法と適切に評価する力を身につけることを目的とする。				
到達目標				
解剖学的知識を復習して、全身の筋肉や神経などをイメージしながら触診・刺鍼できるように修練し、低周波鍼通電療法の基本的な方法を習得することを目標とする。また、鍼通電療法の臨床現場での応用についても学ぶようにする。				
教育方法等				
授業概要	①毎回の課題となる解剖学的知識について復習し、触診のイメージ・方法を習得する。②触診のコツを学んだら、実際に課題の筋肉等へ刺鍼を行う。③刺鍼後、鍼通電療法を試み、適切に行えているか評価・理解する。※授業に臨むにあたり、実技の授業は予習・復習が大切になるため、筋骨格系の基礎知識を復習し、イメージを膨らませて、触診の予習・復習をすること、基本的な刺鍼がしっかりできるように予習・復習することが大切である。日頃から練習し、毎回の授業の刺鍼を意識して取り組むことで、全身の様々な部位、深さ、方向への刺鍼が可能となり、鍼通電療法を習得していくことができる。			
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。			
評価方法	種別	割合	備考	
	試験・課題	100%	実技試験を実施し、評価する。また、予習や毎回提出するプリント、課題などの提出状況、授業の取り組みも評価に加味する。	
	小テスト	0%		
	レポート	0%		
	成果発表 （口頭・実技）	0%		
平常点	0%			
授業計画（1回～15回）				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	ガイダンス、鍼通電療法の総論①	授業の説明、自己紹介を行う 鍼通電療法の手法、利点、注意点を学び、理解する		
2回	鍼通電療法の総論②、体験授業	鍼通電療法のポイント、機械の使い方を学び、理解する 前脛骨筋の鍼通電療法を体験する		
3回	基本刺鍼練習、教員への刺鍼練習	基本刺鍼の復習をする 教員への刺鍼を行い、良い点と改善点の指導を受け、直ちに練習し、身につける		
4回	腰背部の鍼通電療法	脊柱起立筋の解剖学的知識を復習し、刺鍼および鍼通電療法をできるようにする		
5回	殿部の鍼通電療法	大殿筋と中殿筋の解剖学的知識を復習し、刺鍼および鍼通電療法をできるようにする		
6回	大腿前面部の鍼通電療法	大腿四頭筋の解剖学的知識を復習し、刺鍼および鍼通電療法をできるようにする		
7回	大腿後面部の鍼通電療法	大腿二頭筋と半膜様筋と半腱様筋の解剖学的知識を復習し、刺鍼および鍼通電療法をできるようにする		
8回	復習の時間・臨床現場について①	第4回から第7回までの復習をする 臨床現場の実際について話をし、新しい情報や現場の情報を得る		
9回	大腿前内側部の鍼通電療法	縫工筋の解剖学的知識を復習し、刺鍼および鍼通電療法をできるようにする		
10回	下腿前面部の鍼通電療法	前脛骨筋と長趾伸筋の解剖学的知識を復習し、刺鍼および鍼通電療法をできるようにする		
11回	下腿外側面の鍼通電療法	長腓骨筋と短腓骨筋の解剖学的知識を復習し、刺鍼および鍼通電療法をできるようにする		
12回	下腿後面部の鍼通電療法	腓腹筋とヒラメ筋の解剖学的知識を復習し、鍼通電療法をできるようにする		
13回	実技試験に向けての復習の時間	前期実技試験に向けて、今まで学んできた鍼通電療法を復習し、身につける		
14回	実技試験	実技試験を通して、今までの理解度、技術の習得状況を把握、指導することで、後期授業へ活かす		
15回	肩上部の鍼通電療法①	僧帽筋の解剖学的知識を復習し、刺鍼（特につまみ押し）および鍼通電療法をできるようにする		

授業計画（16回～23回）

	授業内容	各回の到達目標
16回	肩こり	肩こりに関連する解剖、原因、病態、診察を理解する。
17回	肩こり	肩こりに対する治療を行う。
18回	肩こり	肩こりに対する治療を行う。
19回	肩関節痛	肩関節に関連する解剖、肩関節痛の原因、病態、検査法を理解する
20回	肩関節痛	肩関節に関連する解剖、肩関節痛の原因、病態、検査法を理解する
21回	肩関節痛	上腕二頭筋長頭腱炎の診察、治療を行う。
22回	肩関節痛	肩峰下関節部の障害、五十肩の診察、治療を行う。
23回	頸上肢痛	頸部の障害の解剖、原因、病態、診察を理解する。